



北葛だより

# みっちゃんの宅配便

## 今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議員団

奈良市登大路町30奈良県議院内 TEL0742(27)5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax0745(55)8725

メールアドレス: mituko38@amber.plala.or.jp

生物兵器も化学兵器も禁止条約があるのに人類も地球も破壊する核兵器には何もなし

# 世界数億人のヒバクシャ国際署名で核兵器の廃絶を

2月定例  
県議会

## 核兵器廃絶を求める決議 全会一致で可決

3月24日最終日奈良県議会では核兵器廃絶を求める決議が全会一致で可決しました。

これは今井光子議員が3・1ピクニデーに参加(裏面に3・1ピクニデー参加報告)して、被爆者の人が高齢化して生きている間に核兵器をなくす道筋をつけたいという強い願いのもとに、「ヒバクシャ国際署名」が世界中の言葉になって全世界で数億人の規模の目標で取り組まれていること、また奈良県では広島市長が提案した2020年を目標に核兵器をなくそうという平和首長会議に39自治体すべてが参加していること、平和首長会議も今回の被爆者署名にいっしょに取り組んでいることを紹介して、奈

良県議会としてもいっしょに取り組めないかと議長に申し入れを行い、各派代表者会議で提案したところ、決議を挙げることになり、実現しました。

\*\*\*

決議文は次のとおり。

決議第1号 核兵器廃絶を求める決議

核兵器を廃絶し、戦争のない平和な世界を実現することは、唯一の被爆経験国である日本はもとより、人類共通の願いである。

しかしながら、今なお1万数千発の核兵器が現存するとされ、核実験を実施している国もあることから、人類は大きな脅威にさらされ続けている。また、民族、宗教、経済的利害の対立などにより、世界各地で武力行使が行われており、核兵器の拡散も懸念されている。

こうした中で広島、長崎の被爆者を先頭に核兵器の非人道的残虐性を告発してきた日本の市民運動が大きな役割をはたし、核兵器廃絶を求める世論は世界を動かしている。

そこで、昭和63年に国際文化観光平和県宣言をおこなった奈良県議会としても、全人類の幸福と世界の恒久的平和の実現を目指すため、核兵器廃絶を関係諸国に対し強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年3月24日

奈良県議会

今回、日本政府は国連の核兵器禁止条約を話し合う国連会議に欠席しましたが、世界115か国が参加。6月15日から7月7日まで開かれる次の会議には禁止条約の骨子が示される方向で大きく前進しています。国際世論の力で核兵器を持っている国々を包囲しましょう



## 手話言語条例が議員提案で可決

奈良県議会では県段階で全国4番目となる手話言語条例を可決。これによって県議会のテレビ中継にも手話が導入されることになります。障害のある人もない人も共に生きられる奈良県を作る条例のワンステップ。一つずつ乗り越えていきましょう。

## 政務調査費がインターネットで公開されることになりました

## 就学援助の入学準備金3月支給が実現

生活困窮家庭にとってうれしいはずの入学が、多くの費用が掛かって喜べない現実があります。支給されるのが7月ごろになるため入学準備に間に合わずその間の家計のやりくりが大変です。今井光子議員は繰り返し取り上げ支給を入学前にできるよう働きかけていました。今年度、新入学する子どもがいる家庭に「入学準備金」を3月、4月に支給したのは王寺町、上牧町、河合町、奈良市の4自治体。来年度から実施することを議会で表明した自治体(三郷町など)もあります。

女性の県議員がそろって、子どもの頃に虐待を受けた方の体験談を聞かせていただきました。虐待を受けて親になった人がまた自分の子どもに虐待をすることがある。実際の話は衝撃でした。幸せな家庭を望んで子どもさんもできましたが、子どもが幸せな状態ではないと、自分は幸せではなかったことがフラッシュバックして相反する自分が存在しているとのこと。児童虐待防止法はできましたが、子どものころ体験して成長した親に対するケアプログラムなどはないといわれて、大きな宿題をいただきました。



# 富裕層呼び込み型事業よ り県民生活、地域経済応 援の県予算に

## 奈良県の新年度予算 組み換えを提案しました

日本共産党奈良県議団は議案採  
案権を行使し、県民合意のな  
い不要不急の事業を見直し、  
切実な県民要求を実現する予  
算の組み換えを提案を行いま  
した。

奈良県予算に求められている  
のは、あらゆる分野で県民  
にそむく安倍政権の暴走政治  
から県民生活を守る「防波堤」  
の役割を果たし、県民生活応  
援、地域経済活性化を支援す  
ることだ。

ところが、交付金を取り込  
むための大型プロジェクト事  
業や大企業呼び込み型の事業  
が目白押しだ。

予算の一部を組み替えるこ  
とで、県民が切実に求めている  
事業を実施することができ  
る。

共産党の予算組み替え提案  
は、総額16億7000万円。  
県民合意が得られておらず、  
不要不急の事業である。

- ◆奈良公園周辺の開発事業  
(ホテル誘致、ターミナル整  
備等18・7億円)
- ◆京奈和自動車道大和北道路  
(13・6億円)
- ◆大立山まひひ(1・2億円)
- ◆大企業向け立地補助金(9  
億円)などを中止などして減  
額し、県民生活と地域経済活  
性化を図る事業

**実現した願い  
もあります**

これまで議会で取り上げて  
きた県民の願いが、新年度予  
算で一部実現しました。

◆県独自のドクターヘリの運  
航がはじまりました。

ドクターヘリは計第一・二  
次議院議員が初回運行し、実  
現を求め続け、共産党県議団  
も毎年おこなっている予算編  
成にあたっての予算要望書で  
求め続けてきたものです。

- ◆「子ども食堂」を開設する  
団体を支援
  - ◆県立高校の空調設備の拡充
  - ◆通院を要する障害者の移動  
支援
  - ◆私立小中学校への就学支援  
などです。
- 引き続き、願い実現に頑張  
ります。

## 奈良県の働き方 人手を増やして残業なくせ 今井光子議員が一般質問

今井光子議員は3月9日、一般質問に立ち、県庁職員の働き方、  
子ども医療費助成制度などについて県の姿勢をたずねました。

働き方の問題で今井県議は、県庁職員が労働基準法で定められ  
ている年間残業時間の目安を、3か月で超過している異常な実態  
を明らかにするとともに、知事部局の各職場定員の欠員が147  
人(2017年3月7日現在)だとして、定員通りの人員配置が  
されていれば残業をなくすことは可能であり、必要な人員を増や  
すべきだと迫りました。

また、子どもの医療費について、県がおこなっている窓口負担  
の根拠になっている国民健康保険の国庫負担金の減額調整措置が、  
2018年4月から未就学児までは対象としない方針を厚生労働  
省が決定したことを受け、県でも未就学児について窓口負担がない  
現物給付方式を導入し、小中学生も含めた医療費の完全無料化  
をおこなうべきと求めました。

答弁にたった荒井正吾知事は、県庁の仕事量について、今後、  
勤務時間の徹底管理や月に一度の午後7時完全消灯実施の拡大など  
に取り組むと答えましたが、超過  
勤務の実態に部局や季節の偏在が  
あることを理由に、欠員をそのま  
まに定員の増加には難色を示しま  
した。また、子ども医療費の現物  
給付方式の導入については、今後、  
市町村に勉強会などを働きかけ  
るとする一方、医療費の無償化は受  
診の増加を招くことから定(低)  
額一部負担金は必要との見解を明  
らかにしました。

また、今井県議は「ヒバクシャ  
国際署名」への知事の積極的な協  
力を要請し、小中一貫教育につい  
ては大規模化などの弊害を紹介し  
て拙速にすすめるべきでないと述べました。



一般質問  
今井 光子議員

願いのあるところ  
どこへでも  
今井光子のフォトレポート

今井光子議員の活動を写真で  
レポートします。



### 奈良県総合医療センター E R救急医療視察

県北部地域の救急医療の中心的な役割を  
果たす救命救急センターが、併設されて  
いる県総合医療センター(県立奈良病院)で、  
E R救急の実情について視察しました。

(2017.02.17 Friday)



### 「過労死をださないために」 人事委員会に申し入れ

県庁職場の長時間残業について、この間、委員会や本会議でも指摘してきました。県  
庁職員の働き過ぎの実態は、超過勤務の実態、健康を害する職員が増加、欠員職員の不  
補充など諸指標をみても明らかです。長時間過密労働が、一部に偏っていることや、全体  
として、定数削減が続いてきたことにより、加重な仕事量になっていて、改善が必要です。  
人事委員会に対策の推進を求めました。

(2017.02.16 Thursday)

### ビキニデー集会の報告

私は静岡県の生まれです。両親が結婚したのが1954年4月1  
日で、お料理にお刺身がなかったと聞きました。第五福竜丸がビキ  
ニ環礁沖のアメリカの核実験で被爆したのがその年の3月1日。3  
月14日に焼津港に船が戻り、初めて死の灰を浴びていたことが世  
間に知らされ、被爆マグロを食べることが禁止されたのです。

3・1ビキニデー集会はぜひ参加したいと思っていました。今回、  
参加をさせていただき、核兵器はなくさなければの決意を新たにし  
ています。

広島・長崎に原爆が投下されましたが、すぐには核兵器廃絶の運  
動はありませんでした。それは、差別と偏見の中で人には言っ  
てはいけないこと、隠すことだったのです。ビキニの核実験の放射能被  
爆で、これ以上の犠牲者を出してはいけないということから原水爆  
禁止運動が始まりました。今年のビキニデーの集会は特別な意  
味を持つ集会でした。人類史上初めて、核兵器禁止条約について国  
連で「交渉会議」が始まる、その直前でした。交渉会議は大国が核  
の力を背景に世界を動かしてきた時代を終わらせ、あらゆる国の平  
和と安全が平等に保障される新しい時代につながる希望の道です。

国連の交渉会議を有効なものにするために今、核兵器廃絶を求  
める被爆者国際署名(ヒバクシャ国際署名)が提起され、世界で数  
億を目標としています。

奈良県ですべての市町村長が平和首長会議に加入しています。  
38の市町村で非核平和宣言が行われていて、あと1つで100%。  
ヒバクシャ国際署名は「みんながやって当たり前」と、大きく構え  
て取り組むことが大切です。全国では士大な取り組みが始まっ  
ています。奈良からも、核兵器廃絶に向けた大きな取り組みをすす  
めましょう。